

【新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン】

関東学生ソフトテニス連盟

会長代行 千葉 篤

理事長 濱野 祐太郎

本ガイドラインは、(公財)日本ソフトテニス連盟・(公財)日本スポーツ協会から示されたスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに沿って、留意点をまとめたものです。関東学生ソフトテニス連盟主催の大会は、当分の間、このガイドラインに基づき実施しますので、各大学関係者の皆様には、安全な大会運営にご協力頂けますよう、参加選手及び関係者の皆様に周知徹底をお願い申し上げます。

【大会参加校・参加選手が遵守する事項】

- 1 発熱や風邪症状・咳・痰・咽頭痛・強いだるさや倦怠感・息苦しさ・味覚嗅覚に異常を感じる等の症状がある場合の参加はしないこと
- 2 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加しないこと
- 3 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された場合には参加しないこと
- 4 参加者は、大会当日朝自宅で検温し、必要事項を記入したチェックリスト（初日用、2日日用）を受付に提出すること。
- 5 感染防止のために主催者及び会場管理者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- 6 大会参加者、監督、補助指導者は『COCOA-新型コロナウイルス接触確認アプリ-』のインストールをするよう努めて下さい。
- 7 大会参加者及び来場者は、関東学生ソフトテニス連盟制作(日本体育大学篠原秀典監督監修)新型コロナウイルス感染予防対策動画を視聴し理解すること

【大会当日・会場での注意事項】

- 1 マスクを持参すること。(予備マスクも持参すること・試合中以外はマスクを着用すること。
- 2 公共交通機関を利用し会場に来る場合は、マスクの着用を徹底し、近距離での会話は控えること。
- 3 感染症対策（マスク・手洗い・手指消毒・ソーシャルディスタンス等）を徹底すること。
- 4 熱中症対策を十分にとること（こまめな水分・塩分・ミネラル等を補給すること）
- 5 会場内では、大きな声での会話は控えること
- 6 更衣室を使用せずに試合ができるように工夫すること。やむを得ず更衣室を利用する場

合、密にならないように注意し長居しないこと

- 7 会場での飲食については、ソーシャルディスタンスに気を配り、対面を避け会話は控えること
- 8 ごみはすべて各自で持ち帰ること

【試合中の注意事項】

- 1 試合中には十分な距離を確認しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用すること。
- 2 会場内ではソーシャルディスタンスに気を配り、他人との距離を2m確保すること。また、コート内においてもできるだけ2mを確保する努力をするとともに、ペアでの会話も対面しないようにすること。
- 3 トスを行う際にはマスクを着けたまま行い、試合開始前・終了後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと（試合終了後の選手間での握手は行わない）
- 4 ペア間でのハイタッチや握手はしないこと（至近距離での会話もしないこと）
- 5 ラケット・タオル等のシェアはしないこと
- 6 マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと
- 7 応援については他人との距離（2m以上）を確保し、声を出しての応援は避けること。（拍手のみ可能とする）
- 8 試合の前後には手洗いをすること
- 9 審判はマスクを着用し、選手との距離を2m以上保つこと

【大会開催後の注意事項】

- 1 大会開催後に大会参加者・関係者に感染が判明した場合は、速やかに関東学生ソフトテニス連盟に報告すること
- 2 感染が判明した場合は、大会当日会場にいた参加校・役員・関係者へ連絡します。また、参加者名簿及び健康チェックリスト等を関係機関に提出する場合がありますので、ご了承下さい。
- 3 感染者が発生したとしても、学校や選手に対しての非難、誹謗中傷することのないように参加校責任者において対応をとること
- 4 受付時に提示された健康チェックリスト等は、大会終了後1か月間当連盟にて保管し、その後廃棄処分します